

三三三案内

交通科学博物館 ①噴水小僧 大阪駅で待ち合わせの目印などとして親しまれてきた「噴水小僧」を八月三十一日まで展示②のりもタイムトンネル 江戸、平成の各時代に誕生・活躍した交通手段をタイムトンネル形式で、江戸時代の「かご」試乗 写真 写真 写真の衣装試着、SLへの投炭体験も。八月三十一日まで▽十七時入館月曜休館祝日なら閉館し翌火曜休、火曜も祝日なら振替休なし、春夏休み閉館。高校生以上四百円、四歳〜中学生百円。JR弁天町駅すぐ。☎六五八二一五七七。

関西フィルハーモニー管弦楽団 いずみホールシリウス23 現代屈指のモーツァルト演奏家であるオースタン・デューメイ(指揮) & ヴァイオリン独奏) 写真 写真 写真の音楽監督就任を記念し、珠玉のモーツァルト作品をセレクトする初回。「全ての音にパッションが込められており、しかも繊細」と評される愛弟子ラチャ・アヴァネシヤン(ヴァイオリン) 写真 写真 写真との待望の師弟共演。演奏曲目は①2つのヴァイオリンのためのコンチェルト日也十 十七時開館 休館時、オーク広場で参加無



平和のため戦争体験語り継ごう

今月は、妻子を残して戦地へ派遣され、満州北端での国境警備や伊豆諸島での本土警備に就き、戦後は建設関係の仕事で国土復興に尽くしてこられた西山政利さん(南市岡)に、その戦争体験を語って頂きました。



私は大正十一(一九二二)年八月、愛媛県大洲町(現大洲市)の農家に二人兄弟の次男として生まれました。尋常小学校を卒業して神戸に出、料理屋の板場で

たのは満州でも最北の地、興安省ホトトでした。川の向こうにはソ連の車が走っているのが見えました。ここでは演習、演習の毎日でした。砲兵の私は速射砲で戦車を狙い撃つ練習などに参加しました。春とはいえ、まだ深い雪

み出ました。「大丈夫か」「何とか耐えます」と一番重い砲身(六十キロくらい)を担いで車両の待つ百ほど先まで運びました。古参兵は感謝しながらも、「お前、どんな体しとんねん」と目を剥いていました。陣

妻子残して満州北端へ 過酷な軍隊生活で助け合いも

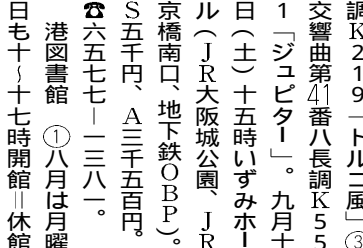
七〜八年修業しました。生きて帰れんかも... 昭和十七(一九四二)年、二十歳で兵隊検査を受けました。足腰が強かった私は三十キロもある米俵を十数回も上げ下げて「甲種合格」となりました。陸軍に入隊し、香川県丸

ても辛く、出発前に「生きて帰れんかもしれんぞ」と告げると、妻は「私たちのことは心配しないで、お国のために頑張ってください」とだけ言いました。

古参兵助け初年兵尻う釜山から牡丹江を経て列車で北へ北へと進み、着いたのは満州でも最北の地、興安省ホトトでした。川の向こうにはソ連の車が走っているのが見えました。

留まり、私は逸早く上等兵に抜擢されたのですが、その地位を生かして、よく部下を庇ってやりました。物をなくして営倉(監獄)入りなハナと倒れることがよくありました。そんな時、若兵を、「分かった、帰って待つとれ」と安心させ、古参兵と掛け合って物品を融

そんな地でも六、七、八月は別世界でした。丘には花が咲き乱れ、畑ではじゃが芋、南京、トマトなどを栽培できました。そんな風景だけを思い返すと、今でも「あんなええ所はない、もういっぺん行ってみたい」と思っています。



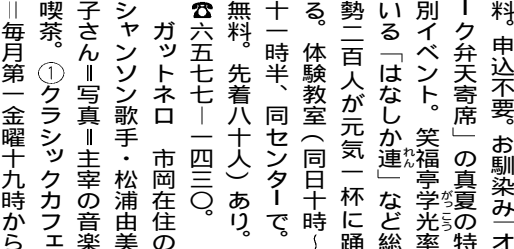
日十八日(木)のみ②高齢者図書ボランティア養成講座 区内の高齢者施設等で活動するグループに参加し、本の読み合い等を通じ、高齢者とコミュニケーションを図るボランティアを募集。九月七日、十月四日、十一月二十五日の全五回講座を受講できる。受講費無料。会場は市立中央図書館他。定員約五名。申込は八月三十一日までに電話か来館で③One Book One Neighborhood 八月三十一日までに電話か来館で④クラシックカフェ 毎月第一金曜十九時から様々な楽器や歌の組み合わせでクラシックを。九月二日は宮崎剛(ピアノ)がバツハを。要予約⑤はなまる 日宮崎剛(ピアノ)がバツハを。要予約⑥はなまる 日以降の上映は「大阪の宿」「近松物語」「夫婦善哉」「忘れじの人」「わが町」「大阪物語(吉村版)」「浪花の恋の物語」「がめついで」「悪名」「工口事師



「オーク弁天寄席・納涼スベシャル阿波踊り」八月二十一日(日)十三〜十五時、オーク広場で参加無



「オーク弁天寄席・納涼スベシャル阿波踊り」八月二十一日(日)十三〜十五時、オーク広場で参加無



「オーク弁天寄席・納涼スベシャル阿波踊り」八月二十一日(日)十三〜十五時、オーク広場で参加無

銭湯へ行こう!

大きな湯舟につかるとα波が出て体も心もリラックス。心身の健康と美容に最高の薬です!

みなと銭湯ファンクラブ(港新聞内)

お話をききとり、冊子にしてお渡します。桂あさ吉「はじめての英語落語」7面に案内、直筆サイン付きを2名様に。

読書プレゼント

いずれもハガキに今月号の感想とプレゼント名を書いて20日必着で港新聞へ。交通科学博物館(上段に案内)招待券をペア2組に。

シネ・ヌーヴォー「浪花の映画大特集」(上に案内)招待券をペア2組に。

ペットシニア

僕と私を可愛がって、生後一カ月半オスメス。健康で元気です。トイレしつけ済み。☎90・3843・02 29吉田

ひとくちPR

(1行)税込1000円(貴方の人生を冊子に聞き取り・文章化料金は四百字(原稿用紙一枚)千円が標準(冊子五冊まで無料)。

次世代に戦争体験等を伝えよう!

400字(原稿用紙一枚)で千円が標準料金です。

第31回 港区 私たちと戦争展

身近な歴史をほりおこし、戦争の真実を次の世代に語りつごう!

展示の部 8月27日(土)・28日(日) 12:00~20:00 9:30~16:00 港近隣センター1階

「原発事故と放射線と私たち」 立命館大学名誉教授 安齋育郎さん 9月15日(木)18:30~ 港区民センター

主催 港戦争展実行委員会 港区磯路2-7-2-101 港生健会内 ☎6576-4809